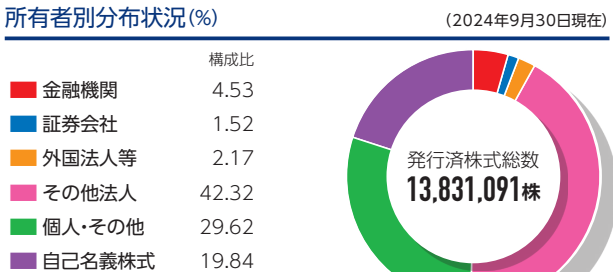


株式状況	(2024年9月30日現在)
発行可能株式総数	19,900,000株
発行済株式総数	13,831,091株
株主数	10,857名

大株主(上位10名)	(2024年9月30日現在)
株主名	所有株式数(株) 持株比率(%)
平澤 創	4,877,238 43.98
内藤 征吾	367,900 3.31
株式会社第一興商	367,363 3.31
清原 達郎	279,900 2.52
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	248,400 2.24
吉本興業ホールディングス株式会社	206,870 1.86
高石 文夫	176,900 1.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	161,700 1.45
株式会社講談社	138,400 1.24
三井住友信託銀行株式会社	112,500 1.01

※当社は自己株式を2,743,856株所有しておりますが、上記大株主から除いております。
※持株比率は自己株式(2,743,856株)を控除して計算しています。
※持株比率は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。



※発行済株式総数 13,831,091株の構成比率です。
※構成比の表示単位未満の端数は、四捨五入して表示しています。

株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031
公告方法	電子公告 https://www.faith.co.jp/ir/koukoku/ ただし、電子公告による公告をすることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

- お知らせ
- 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会
は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されてい
ない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信
託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管
理機関にお問合わせください。
なお、三井住友信託銀行株式会社各支店にてもお取次ぎいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行株式会社の本支店でお支払
いたします。
 - 配当金の口座振込をご指定の株主様と同様に、「配当金領収証」により配当金をお
受け取りになられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当
金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の添付書類としてご
利用いただけます。(株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先
につきましては、お取引先の口座管理機関(証券会社等)へお問合わせください。)

免責事項

本報告書に記載されている将来に関する予想については、現在入手可能な情報か
ら得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、様々な要因の変
化により、異なる場合があることをご承知おください。
本報告書に記載している会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。



ウェブサイトのご案内

フェイス・グループ各社のサービスや注目のコン
テンツ情報、最新トピックス等を掲載しています。
<https://www.faith.co.jp/>



フェイス・グループ X のご案内

フェイス・グループの様々な情報を発信している
SNSです。以下のURLからフォローいただけます。
https://x.com/faithgroup_1992

**株式会社フェイス**
〒604-8171
京都市中京区烏丸通御池下る虎屋町
566-1 井門明治安田生命ビル
<https://www.faith.co.jp/>
お問い合わせ先 **TEL.** 075-213-3933
FAX. 075-213-3833



Semi Annual Report
2024.4.1 – 2024.9.30
株式会社フェイス | 第33期上半期 営業のご報告

未来派志向×温故知新 ～融合による新たな進化を加速させ 音楽を基点に未来を創造する～

エンタテインメントの未来全般を 俯瞰しつつ音楽の未来を創造する

従来のエンタテインメント業界という枠組みから見ると、様々な観点から深掘りされた多種多様なベンチャーが立ち上がり、細分化が一層、進んでいるとの印象です。掘られた機能の活用は、今はまだ置き換えが多く、根本的な変化を生み出す状況には至っていません。例えば、写真や動画に加工を施し、SNSへ投稿することが一般的となった中、逆に今という瞬間のリアルを切り取り、共有するアプリが一定の支持を集めています。もしかすると、「今まで楽しくなかったことが楽しくなる」こと自体がエンタテインメントであることを示す片鱗なのかもしれません。

音楽を基点に未来を創造することをミッションとするフェイス・グループとしては、大きくエンタテインメントの未来全般を俯瞰して見ることと音楽の未来を描いていくことを分けて考えていく必要があります。もちろん、音楽フェスはエンタテインメントそのものであり、まったく音のしないテーマパークやアミューズメント施設

も存在しません。映画も特殊な事例は除き、音楽とは切っても切れない相関関係にあり、すべてのエンタテインメントと音楽は密接に繋がっています。だからこそ、一旦、棲み分けて俯瞰した上で、融合の形として考えていくことが、未来を描く上で非常に大事な視点となります。

新たな視座が誘発する マインドの自覚的变化

「ミリオンヒットを出すこと」を前提に、制作・宣伝・製造・流通・営業といった機能で構成される従来のレコード会社は、CDやレコードといったパッケージ商品をミリオンヒットの礎石としていることから、「メーカー」と呼ばれてきました。10年後のレコード会社、音楽業界の姿を具体的に描ける人はいませんが、製造不要となる時代、従来のレコード会社のあり方は限界にきており、パッケージ商品を製造して流通させるという産業が終焉を迎えることは自明の理です。この「モノを売る」というカテゴリー内に留まった視座からの発想では、その先に進むことも、未来を描くこともで

きません。

昨年実施した「コンテンツ事業の組織再編」は、組織機能を分解し、何を売り、伸ばしていくか、自らが進む方向性を明確にすることと真摯に向き合ってもらう機会となりました。さらに、この春に実施した「組織改革に向けた転進支援」では、フェイス・グループが有する優位性と自らの優位性に自覚的になり、その掛け合わせから新しいサービス創造に向かう個々の進化を加速させる機会としました。新生フェイス・グループが必要とするマインドへの回生を促し、「いよいよその時が来たか」という空気感を浸透させることができたとの手応えです。事業構造に限界を感じながらも毎期の目標に追われ、同じことをやり続けることに流されるのではなく、次なる一步をいかに進めるかを認識するステップへ移行が進んだとの感触を得ています。人数が減ったことで洗練され、精鋭となっていく傾向も見えて、[少数にすれば皆が精鋭になりうる]という意味合いの「少数精鋭」を実感することとなりました。

次代に選ばれる 「未来のレコード会社」の創出

フェイス・グループはこれまでも、将来を見据えた新たなプラットフォームの創造とマーケットで起きていることを現在進行形で収益化できるコンテンツ事業の2つを両輪として展開してきました。その掛け合わせによる様々なスパイラルを生み出しながら、いわば、「未来のレコード会社」の創出に専心できることが強みであるも

のの、やるべきことで手をつけられていないことがまだまだたくさんあることも事実です。

一瞬の流行ではなく、普遍性に息づく道を追求し続ける一方で、グループ全体としては、すでに世の中にあるプラットフォームを通じて、世界を席巻する人たちが現象を生み出す方法・仕掛けの世界を掘り下げ、爆発的に広がるコンテンツやプロダクトの生成を突き詰めることも、本来、力を入れるべきビジネスの1つです。実際、そうした方向感での伸び代も非常に大きいと捉えています。

また、楽曲を預けたいと思うアーティストが増えるレコード会社であるためには、どうあるべきかを考える、それも1つの方向感です。しかし、それは既存流通の中で選ばれることを意味しません。今後、何をもって音楽プロダクトを展開していくか。その展開を実現する新たな音楽流通のあり方を制作一体となって提供する、それが、フェイス・グループが描く、次代に選ばれる「未来のレコード会社」のあり方であり、新たなプラットフォームの創出です。

自らの存在意義に忠実に 音楽流通へパラダイムシフトを

新たなプラットフォームは不図に席卷し、圧倒的存在となることが多く、あらゆる可能性を広げ、スピード感をもって掛かれば、時代に置いていかれます。だからこそ、多様な分野・多様な会社とのパートナーシップは不可欠です。

未来をコミットメントすることには限界

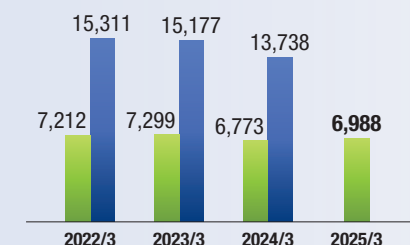
がありますが、半歩先を見極めるには十歩先を見ていなければ、進む方向感が狂います。目的地の想定あつての半歩先、一歩先だからです。どの山を登るかは明確です。その上で、どのような登山道を求め、拓き、進むか。今の段階では具体的に言及することはできませんが、フェイス・グループの描くレコード会社の未来に合致する分野への投資領域は、一層、明確になってきています。

その山が世界のプラットフォームになるかどうか、それは、過去の事例から見ても一瞬のうちに起こることです。GAFAMを例に見ても分かるとおり、会社それぞれに成長の仕方があり、フェイス・グループも自分たちらしく、自らの手で世界初・日本初を生み出す意志とその広がり先の先実現される成長を指向します。

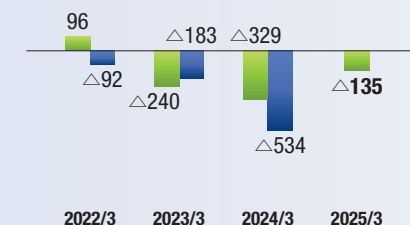
様々な領域で多岐にわたって要素や機能が混ざり合い、多様な融合が起こり始めた今、一層、パラダイムシフトが起きやすい局面に突入したことは間違いありません。過去の産業のあり方からこれからの産業のあり方へ、音楽流通のプラットフォームにパラダイムシフトを起こす、それが、フェイス・グループが、今という時代、ここに存在する意義に他なりません。企業理念「あるものを追うな。ないものを創れ。」のままに、変わらぬ本質的価値を新たなプロダクトへ、まだ形には見えていない1を見る形の1にする、その自らの本分に邁進していきます。引き続きご支援いただけますようよろしくお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

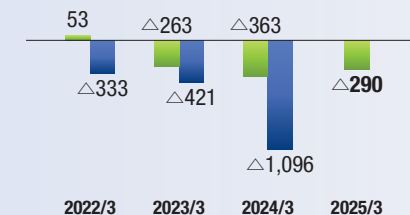
連結売上高 (単位: 百万円)



連結営業利益 (単位: 百万円)



親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益 (単位: 百万円)



グループ会社紹介
株式会社ライツスケール



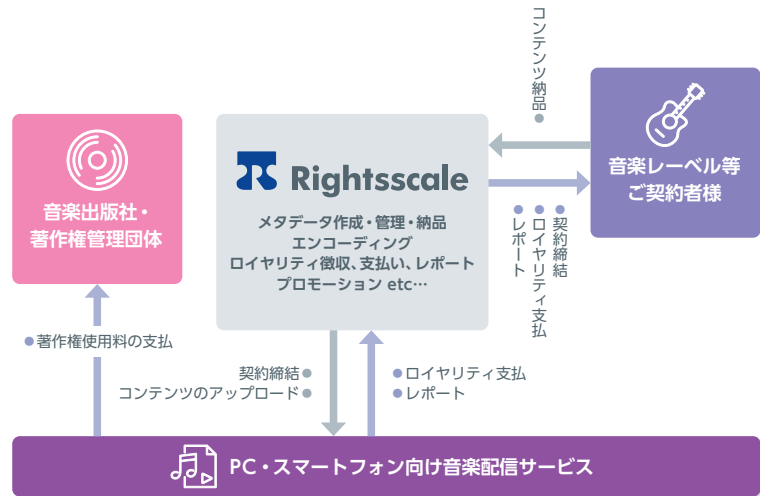
日本第1号の音楽配信アグリゲーターとして、2005年のiTunes Store Japanのサービススタート時より、多くの楽曲配信をサポート。国内外の主要なPC・スマートフォン向けダウンロード配信や月額制のストリーミング配信、ショート動画、YoutubeのコンテンツIDなどの各種音楽サービスに対して、ご契約者さまの音楽コンテンツの納品～ロイヤリティ支払までのソリューションを提供いたします。

代表取締役メッセージ



代表取締役 野本 晶

経歴 ソニー・ミュージックエンタテインメントに入社後営業を経てソニー・コンピュータ(現SIE)へ出向し、プレイステーションの黎明期に携わる。その後、ゾンバ・レコーズ、ワーナーミュージックを経て、2005年からiTunesにてiTunes Storeの日本立ち上げに参加。2012年にはスポティファイジャパンへ移籍し、2016年以降の日本展開に尽力。2019年、インディペンデントのデジタルライツエージェンシーであるMerlin Japanのゼネラルマネージャーを経て、2024年7月株式会社ライツスケール代表取締役社長に就任。



国内音楽ビジネスのグローバル化にチャレンジ

フェイス・グループとライツスケールは、当時私も日本でiTunes Storeが立ち上がったタイミングからビジネスを共にした日本で最初のディストリビューターでありました。その歴史の新たな1ページを、時を超えて共に描けることは大変嬉しく思います。フェイス・グループはテクノロジーの会社というイメージから、入社後にはより音楽、映像、エンタテインメント領域へ軸足を置いている印象を新たに受けました。グループ内でのシナジーで、これまでにないものを創ることを楽しみにしています。

日本の音楽業界も外資（主にプラットフォーム）による洗礼を受け、これまで国内である程度成立していた音楽ビジネスのグローバル化を行うことが課題の1つとなりました。これまでは日本語であるがゆえに海外ユーザーに届きにくいのではないかという考え方もありましたが、昨今は、逆にこれをアドバンテージとして世界中のオーディエンスと繋がって行けるかどうかをチャレンジできる素地が整ってきていると思います。その好例を作るべく、新しいアーティストからカタログまで色々な形でチームメンバーをサポートしていきたいと思っています。音楽レーベルをサービスとして分解した時に、制作、財務、宣伝など重要な部分はこれからも形を変えながら必要とされるものだと思いますが、流通も機能として重要な部分であり、日本独自の部分は残しつつもグローバルな流通プレイヤーに劣らない機能を装備することが、グループ全体にとっての大きな資源となり、またさらには日本音楽業界全体にも貢献するものと確信しています。

オーディエンスを魅了するプラットフォーム「Sprayer®」

2023年8月にローンチしたSprayer®（スプレーヤー）について、本年度にまず初期の指標とおいていた登録アーティスト数は達成に近づいてきています。「これから」を見据えたファンディングなどユニークな機能をいち早く実装しサービス提供していますが、競合過多の中でアーティストの認知はまだまだ広げする必要があります。こうした新機能を含めて、サービス認知度を少しずつ上げていき、同時に成功するアーティスト例を作ることが肝要だと考えています。

プラットフォームでも、レーベル側でもオーディエンスを魅了していくという目的には変わりなく、またマーケットはオーディエンスの変化に伴うものだと思います。この変化にいち早く気づける、高いオーディエンス感覚を何歳になっても培っていけるよう私個人、そしてチームメンバーもリードしていけるよう精進して参ります。

坂東 祐大
B A N D O H Y U T A



「ふつうはこうだ」に対し
「本当にそうなのか?」と問い直し
刺激を与え続けたい

—— 坂東さんが音楽をはじめたきっかけを教えてください。

母にピアノを習ったのが音楽との最初の出会いです。父と結婚する前の母は、町のピアノの先生や中学校の音楽講師をしていたこともあって、スパルタ指導でしたね（笑）。

—— 様々なジャンルの音楽がある中で、「現代音楽」を主戦場とした経緯を教えてください。

音大の作曲科では、「西洋音楽」とその現在進行形である「現代音楽」を学ぶので、入り口としては単にカリキュラムの一部でした。でもいまとなつては、現代音楽は「作曲家としていちばん自由に表現や実験ができる場所」であり、わたしにとって欠かせない大切な存在だと感じています。

—— 作曲する上であまり一般的とはいえない試みもされているようですが、どのような狙いがあるのでしょうか？

わたしの作品では、「ドレミをすべてまちがった音名でうたう」といった手法を用いることもあります。これは現代音楽の技法の1つですが、「ふつうはこうだ」という刷り込みに対して「本当にそうなのか?」と問い直し、音楽やそのオーディエンスを刺激することに面白さを見出そうとしています。

—— 映像音楽やJ-POPを手掛けることの面白みはどのようなところに感じていますか？

映像音楽には以前から興味がありました。音楽家でなければ建築家か映画監督になりたかったからかもしれません。そのもう1つの夢の一部が叶ったような喜びがあります。J-POPに関しては、「自分の持つエッセンスやアイデアで力になれるなら」といったスタンスで携わらせていただいています。「歌がいちばんの主役」という点が他ジャンルとの決定的な違いであると同時に、面白いところかもしれません。

—— 坂東さんの最新作は、「怪獣8号」オリジナル・サウンドトラック』です。

まさか自分がジャンプ作品に携わるとは思ってもいみませんが、これを機にできる限り「攻めた音楽」を追求しようと決意しました。その1つが、ストーリー的な必然性もあって、個人的にはなじみのなかったロック調を取り入れたことです。制作過程では苦労もありましたが、友人たちの支えもあって楽し

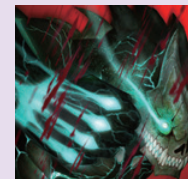
みながら制作に臨めたのは幸運でしたね。日本が世界に誇るアニメーションですが、音楽・音響の面では「もっとできることがある」と感じていたこともあり、その思いをかたちにすべく全力でトライさせてもらいました。

—— 今後の活動についてお聞かせください。

現代音楽の公演を増やし、地方でのコンサートも積極的にやりたいと思っています。また、これまでチャレンジしていないフィールドとしては、インスタレーション作品にも挑戦したいですね。

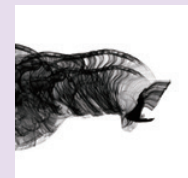
—— 最後に、メッセージをお願いします。

最近、明治時代からいかに日本が西洋音楽を取り入れたかということについて調べているのですが、様々な資料に日本コロムビアの名前が出てきて、その歴史の長さに感嘆しています。現在は明治時代と比べて音楽の需要も多様性も異なりますが、「どのような表現をしたら社会に対して刺激を与えられるか」というテーマのもと、新たな実験を行う場を提供していただけていることに心から感謝しております。



『「怪獣8号」オリジナル・サウンドトラック』
CD2枚組:COCP-42282-3
¥3,960 (税込)

ジャンルを超えたアーティストが集結してテレビアニメ『怪獣8号』の音楽世界をつくり上げた、全64曲にも及ぶサウンドトラック。本作のために追加録音した他、MIXをすべてやり直した渾身の作品で、ブックレットには、坂東祐大と武井克弘プロデューサーの対談を収録。 © 防衛隊第3部隊 © 松本誠也 / 集英社



『TRANCE/花火』
COCQ-85575-6
¥3,740 (税込)
※高音質CD[UHQCD]採用

芥川作曲賞委嘱作品「花火」、青葉市子、U-zhaan、石若駿、上野耕平らが参加した「TRANCE」、クラシック音楽の“ふつう”を解体する「ドレミのうた」という、20代に作曲した3作品を収録。現代音楽家としての初作品集であり、坂東祐大の20代における集大成でもある。

PROFILE 1991年、大阪府生まれ。東京芸術大学作曲科を首席で卒業し、第25回芥川作曲賞など数々の賞を受賞。作品は、オーケストラからサウンドインスタレーション、映像音楽まで多岐にわたる。クラシック演奏家によるアンサンブル・Ensemble FOVEの設立者でもある。米津玄師や宇多田ヒカル、嵐の編曲など多岐にわたるコラボレーションも行い、その活動の幅を広げ続けている。

FEATURED SONGS PICK UP

藤子・F・不二雄生誕90周年記念、
大全集CD-BOXが発売中

藤子・F・不二雄生誕90周年を記念して、藤子・F・不二雄作品から生まれたTV、映画、ドラマの主題歌・挿入歌を集めた全12組のCD-BOXが発売中。「ドラえもん」をはじめ、「パーマン」「キテレツ大百科」他の楽曲に加え、90周年記念楽曲「キミのぼけっと」(作曲/演奏：葉加瀬太郎)や、ジャイアンのメジャーデビュー曲として話題になった「ジャイアントドリーム」などたっぷり全255曲が大集結。



 『藤子・F・不二雄生誕90周年記念
藤子・F・不二雄 MUSIC HISTORY』
【CDBOX】2024年9月25日発売／
22,000円(税込)

世良公則 最新ライブから
ベストセレクションの
ライブアルバムを配信リリース

現在ツアー中の「世良公則のアコースティック
ソロライブ〜進む (hotobashiru)〜生けるチカラが此処にある」より、選りすぐりのライブティク
を12曲にまとめ、ライブ
録音ならではの世良の圧
倒的なヴォーカルとパワ
フルなギターサウンドを
余すところなく収録。



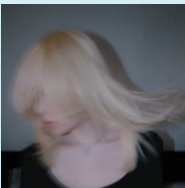
 世良公則『進む』
2024年10月21日／デジタル配信

出会ったすべての人に感謝する、
珠玉のコレサワ流ラブソング

大阪府出身、わがままヴォイスが魅力のシン
ガーソングライターコレサワは、2017年8月に
1stアルバム「コレカラー」でデビュー。2024年、
弾き語りによる全国ツアー「日々会々」のファイナ
ルとなる東京公演で初披露された本作は、カント
リー調の軽快なサウンドに乗せて「全部、君に出
会うためだった」と出会
ったすべての人への感
謝を歌う、コレサワ流の
ラブソングとなっている。


 コレサワ『元彼女のみなさまへ』
2024年9月4日／デジタル配信

Amazonプライムの
CMにも起用されている、
今話題の楽曲

2024年1月にリリースした『秘密の』は、日頃の
悩みや葛藤に対する想いを頑張らなくてもいい、
諦めてもいい、とあなたの「秘密」を受け止めるよ
うな楽曲。SNSで瞬く間
に話題となり、Amazon
プライムCM「アーバン
ジャングル篇」にも起用
され、リリース以降も話
題となっている。


 Aki『秘密の』
2024年1月24日／デジタル配信

バッティストーニによる圧倒的な
推進力と、完璧なコントロールで
作り上げられた巨大な音宇宙

『カルミナ・ブラーナ』は、ドイツの作曲家カール・
オルフの代表作であり、力強いリズム、印象的な
メロディー、そして大規模な合唱とオーケストラ
の融合により、クラシック音楽の中でも特に人気
の高い作品。バッティストーニは、この「カルミナ・
ブラーナ」を得意としており、イタリアのアレーナ・
ディ・ヴェローナ音楽祭
などでも大成功を収め、
今回満を持して東京フィ
ルハーモニー交響楽団
の定期演奏会で取り上
げ収録された作品。


 オルフ／世俗カンタータ
『カルミナ・ブラーナ』
【CD】2024年11月13日発売／
3,500円(税込)

「徹子の部屋」放送で話題に
感動のバラードが
シングルリリース

2024年5月に「徹子の部屋」(テレビ朝日系列)
に出演し話題となった米国ニューヨーク市在住
の音楽家宮嶋みぎわが、番組内で披露し大きな話
題となったバラード『き
みはほんとうはいい子
だよ』を自らピアノで弾
き語りしたシングルをリ
リース。


 宮嶋みぎわ
『きみはほんとうはいい子だよ
(弾き語りバージョン)』
2024年11月6日／デジタル配信

若い世代を中心にSNSで話題の
元警察官のシンガーソング
ライターによる人気曲

『少しだけ』は、インスタグラムのリールでの
爆発的な再生を受けて、TikTokでは様々な楽曲
紹介アカウントで紹介され、瞬く間に拡散。MV
は120万回再生を突破し、「Billboard JAPAN
Heatseekers Songs」では3週連続1位を獲得す
るなど、今年話題を呼んだ楽曲となっている。


 五十嵐ハル『少しだけ』
2024年3月1日／デジタル配信

言霊の持つ力を音に込めた
渾身の一曲

西宮ビーチリゾートにあるお店Casablancaで
のライブを期に、この場所でのインスピレーショ
ンを得て制作に至ったその名も「Casablanca」。
日本語で綴る今を生き
る私たちの内側へのメッ
セージ曲となっている。


 A Hundred Birds
『Casablanca (feat. TeN)』
2024年11月1日／デジタル配信

COMPANY OVERVIEW

会社概要

株式会社フェイス		(2024年9月30日現在)	取締役および監査役 (2024年9月30日現在)		アドバイザー・ボードを構成する社外有識者		(2024年9月30日現在)
事業内容	コンテンツ配信プラットフォームの開発 およびビジネスモデルの構築		代表取締役社長	平澤 創	島田 精一	元日本ユニシス株式会社 代表取締役社長／ 株式会社お金のデザイン 社外監査役／株式会社 ISE 最高顧問／ 学校法人津田塾大学 理事長／国立大学法人千葉大学 経営協議会委員・学長選考会委員／ 学校法人根津育英会武蔵学園 評議員／内閣官房 産業遺産に関する有識者会議 委員／ 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団 評議員／ 一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト 特別顧問／ 公益財団法人日伊協会 会長／公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 評議員／ 日本ヴェルディ協会 理事／	
			専務取締役	中西 正人			
設立	1992年10月9日		取締役	鈴木 千佳代	大八木 成男	帝人株式会社 名誉顧問／東京電力ホールディングス株式会社 社外取締役／ アサヒグループホールディングス株式会社 社外監査役／	
資本金	32億1,800万円		社外取締役	正宗 エリザベス			
上場取引所	東証スタンダード市場(証券コード4295)		社外取締役	水戸 重之	堀 裕	堀総合法律事務所 代表弁護士／日本ローエイシア友好協会 常務理事／ 前内閣府 公益認定等委員会 委員／みずほグループ各社 顧問弁護士／ 株式会社パソナグループ 特別顧問、指名・報酬委員会委員長／ フィデアホールディングス株式会社 社外取締役／ JUKI株式会社 社外取締役／在日ロイヤル・ダッチ・シェルグループ各社 監査役／ 国立大学法人千葉大学 理事・副学長、経営協議会委員・客員教授／ 公益財団法人国連大学協力会 監事／ 公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構 理事／ 公益財団法人渋沢栄一記念財団 理事／公益財団法人日本国際教育支援協会 理事／ 日本郵政グループ各社 顧問弁護士／	
従業員数	106名(連結429名) ※2024年3月31日現在		社外取締役	瀧口 匡			
			常勤監査役	長吉 晋			
			社外監査役	清水 章			
			社外監査役	菅谷 貴子			

フェイス・グループ

コンテンツをユーザーに届けるためのあらゆる機能を有し、ワンストップサービスとしてプラットフォーム化できる企業グループです。



※本文書に記載されている商品・サービス名は株式会社フェイスの
日本またはその他の国における商標または登録商標です。